

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒130 東京都墨田区
東駒形1-16-7
第1ホークプラザ303号
TEL.(03)3625-7307
発行責任者
運営委員長 渡辺孝一

〒郵便振替口座
00150-4-15754
(変更になりました。御注意を)
中銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

設立5周年事業 名古屋で開催

全国協議会は今年、設立五周年を迎え、四月名古屋で九日間、渡って五周年事業を展開しました。

各イベントは愛知の会が中心となり、全国協議会加盟の東海地区各団体の協力のもとに運営され、多くの市民に全国協議会の運動と骨髄バンクの理解を訴え、大きな反響を得ることができました。

●記念式典と特別企画

(メイン企画)

記念式典をはじめとするメイン企画は四月十六日にテレビアホールで開催されました。

海部幸世会長と共催者の松本喜久也ライオンズクラブ三三四Aガバナーの挨拶に続き、来賓の厚生省から薄井康紀臓器移植対策室長の祝辞があり、鈴木礼治愛知県知事、西尾武喜名古屋市長自らが出席し、小池欣一財団理事長とともに祝辞がありました。

更に全国協議会の五年間の歩

みが報告され、五周年を記念してこれまで骨髄バンク運動に貢献した六者に感謝状が記念品とともに贈呈されました。また式典のしめくくりとして設立五周年記念大会宣言(別掲)を読み上げました。

引き続き中村勲九郎さん(歌舞伎俳優)と安田文吉南山大学教授の座談会があり、休憩をはさんで午後にはパネルディスカッションがありました。

天野鎮雄さんの司会で、東ちづるさん、山本潤J.C.会頭、マヤムア・衛星放送キャスター、大谷貴子副委員長により「命をください・ボランティアを考えた」と題して熱き意見が語られ、骨髄バンクをアピールしました。

この模様は録画収録され、後日東海テレビよりテレビ放映されました。

●ハートフルフェスティバル

(オープニング)

五周年記念事業のオープニングを四月九日(日)午前十一時から、星ヶ丘スポーツP&Sにて開催いたしました。当日は、約四百名の参加者があり、ご家族で見えられた方も多く、華やかなスケートショーや楽しいステージ、ゲームを親子で楽しんで頂けました。骨髄バンクをパネルビデオで紹介したり、ドナー経験者によるドナー相談コーナーでは、休憩の間に熱心に内容を見ておられた方が多くあり、シンポジウムとは、ひと味違った効果が感じられました。

●骨髄バンクパネル展

四月八日から十六日まで、栄セントラルパーク・市民ギャラリーでは「骨髄バンクパネル展」が開かれました。

骨髄バンク紹介の様々なパネルに加え、全国協議会加盟の各

ボランティア団体紹介パネル、世界の骨髄バンクのパネルなども展示され、多くの市民が足をとめてパネルに見入っていました。

全国骨髄バンク 推進連絡協議会 設立五周年記念大会宣言

●前文

私たち全国骨髄バンク推進連絡協議会は本年、満五歳になりました。

五年前、十三団体の加盟により産声をあげ、現在二十八の団体が全国三十七の都道府県で骨髄バンクのボランティア活動を草の根で展開しています。この間、悲しいことに私たちは多くの仲間を失いました。骨髄バンクの実現を、そして生きぬくことを強く望んでいた仲間たちは、私たちの活動に勇気と力を与えてくれました。彼らひとりひとりの「想い」を骨髄バンクの発展のために、いかに生かしていくかが私たちの使命です。

私たちが公的骨髄バンクの設立運動の中で望んできたことは、骨髄移植を望む患者さんが確実に骨髄移植をできる「有効に機能する骨髄バンク」でありました。そのため、多くの国民に理解と支持を得られる制度として

公的骨髄バンク事業は開始されて満三年が経過し、いま順調に進展を続けています。日本骨髄バンクの関係者の方々の努力に感謝し、骨髄提供者となられた方々の勇気とやさしさに、心より敬意を表します。

しかし、普及広報の不断の推進、コーディネート業務の迅速化、医療体制の拡充整備、国際協力の推進、さらに骨髄バンク

「感謝状を贈呈された皆さん(左から中堀由希子さんの御両親、三瓶彰子さんのお父さん、海部会長、奥野昌友刊行会長)



骨髄バンクNOW

☆財団の平成7年度普及広報計画

昨年度の反省を踏まえ、今年度はより一層の普及啓発を促進するため、新たに次のような計画が加えられました。

- 1) 全国8ブロック別に地区普及広報委員を公募し、各地での広報活動の一層の進展を図ること。
- 2) 文化的な集いとして、財団主催のコンサート(候補地:鳥取、山梨、高知)や、講演会を開き、より多くの層に理解や協力を求めること。
- 3) ホセ・カレーラスコンサートや奈良・東大寺コンサートの支援。
- 4) コンピュータ・ネットワークPC-VANでの「骨髄バンク」情報提供開始。

☆ドナー登録受付の一部保健所での紹介開始

現在、全国76保健所でドナー登録受付が開始されており、地元、骨髄データセンターとの調整がついている42カ所の保健所をハガキに明記し、紹介しています。

☆財団委嘱のコーディネーター業務開始へ
昨年4月公募、6月研修開始、今年3月選考、この4月より正式に委嘱された114名(一期、二期生を含む)のドナーコ

ーディネーターが、全国で業務を開始しています。コーディネートの適正化、迅速化が期待されています。

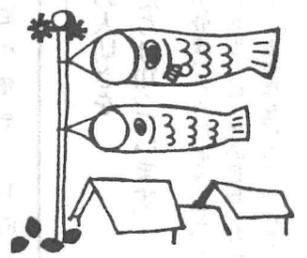
☆財団中央事務局4月1日人事異動

事務局長に野田尚子さんが新採用一就任、広報・募金部が広報渉外部と改名され、募金部が新設されました。

[3月末現在検査済ドナー登録者]	62,527人
[3月末現在患者登録者]	2,880人
[3月末現在移植件数]	354件

(3月末現在)

★骨髄バンクへのお問い合わせは★
フリーダイヤル0120-377-465



パネルディスカッションの出席された皆さん(左から司会の天野さん、パネラーの大谷さん、東さん、矢崎さん、山本さん、ムアアさん)

事業の財政等、今後の課題も山積しているのが現状です。市民レベルで骨髄バンクのボランティア活動を推進している私たちが原点にたちかえり、もう一度足元を見直すときかも知れません。



ハートフルフェスティバル(4月9日)

●宣言文

私たちは、

一、日本骨髄バンクが順調に発展することを願い、骨髄バンクが社会的理解を得るため、普及啓発の面から骨髄バンク事業に積極的に協力する。

二、最前線の草の根運動の中

から得られた貴重な国民の声が、骨髄バンク事業に確実に反映されるよう、建設的な提言をしていく。

三、世界各国の人々の善意が骨髄提供というかたちで活かせるよう、骨髄バンクの国際協力ネットワーク実現のため、その環境作りに協力する。

四、骨髄提供者を得ながら骨髄移植を受けられないという患者さんの悲劇を繰り返さぬよう、医療体制の拡充と整備のための運動を継続発展させる。

五、ボランティアの活動倫理を確立し、骨髄バンクのボランティア団体が社会的な信頼を得られるかたちで活動できるように努力する。

以上宣言する。



「歌舞伎よもやばなし」で対談される安田教授(左)と中村勲九郎さん

日本生れ。日本育ち。



育ての親は、あなたの町。

その土地で生まれ、その土地で育つコンビニエンスストアです。各地域の良さを活かしながら成長をしているのがファミリーマート。店舗のオーナーさんやお客様の声を反映していくことがあったかいサービスにつながっていくんですね。日本で生まれたコンビニエンスストアだからこそ、きめ細かなサービスができるのではないのでしょうか。

FamilyMart

移植センター設立運動 などを論議 全国代表者会議



4月15日 全国代表者会議

全国代表者会議が、名古屋で五周年記念式典前日の十五日に、五つの加盟団体を除く全国各地から六十名を超える参加者で開かれました。

会議では、各地の活動報告につづいて、全国協議会の法人化についてと移植・採取センター設立運動についての二つの議題に絞って、熱心な論議が交され、次のようにまとめられました。

◆法人化について

賛成、反対、慎重論がそれぞれ出され、結論は出さず継続協議に。なお、法人化には厚生省の認可が必要のため、継続協議の前提として厚生省に打

診してみることになりました。

◆移植・採取センター設立運動について

疑問や積極論など多くの意見が出され、討議のまとめとして、運動を展開するための第一歩である「呼びかけ人会」に全国協議会として参加することを賛成多数で決定しました。同時に、今後の運動展開の中で、内容の検討は運営委員会や代表者会議で検討していくことにしました。

大谷さんが「社会福祉賞」の副賞を寄贈

大谷さんは、先に受賞した朝日社会福祉賞の副賞(二百万円)を全国協議会に寄附することを表明し、代表者会議の席で渡辺委員長に贈呈しました。会場は大きな拍手に包まれました。

「チャリテイ・トレーナー」を作りました

五周年を記念して骨髄バンクチャリティートレーナーを作りました。

キャッチフレーズは「LOVE IN BONE!」「骨の中の愛」という意味です。胸に近藤佳絵さんのイラストがプリントされ、袖口にも骨髄バンクのメッセージが入っています。

売価は一着三千円、各種イベントにて販売します。



5周年で初登場、スタッフも着ているトレーナー

各地のたより

各地のたよりを写真添えてお寄せ下さい。

岩手 県内全十五の保健所で登録開始

岩手県では昨年十二月より県内十三保健所で月一回のバンク一次登録を開始していましたが、今年度残りの二カ所でも登録受付を開始します。昨年までは日赤データセンター一カ所のみで登録場所であったため四国四県の広さに匹敵する岩手県においては登録するために片道百一五十kmという地域も多く登録申し込みハガキを財団に送りながらも実際の登録にたどり着けずにいる多くの善意の方々がいらっしやいました。それを裏付けるように申込者数に対する登録率も五十一%から五十七%とUPし、保健所登録数の全登録数に占める割合も四十%を超え上昇傾向になっています。

秋田 雪まつりとチャリティーバザーでバンクPR

二月四日・五日の二日間に渡り、秋田市で「堂っ子の雪まつり」が行われ、PR活動と資金確保のためうどんの販売をしました。

今年例年に無く積雪が多く、二日間とも天候に恵まれ、盛況のうちに幕を閉じました。

毎年頭を悩まし、前日の夕方遅くも完成出来ずに、はらはらしてしまいう雪像作りも今回は四回目。約二時間という異例のスピードで完成した「星のカービィ」の出来も素晴らしいものでした。成長の跡を認めていただいたのか、秋田県教育長賞を受けることが出来ました。

新潟 県内十四カ所で彩ちゃん展

新潟では四月一日から六月十日までシンボ開催地を中心に十四カ所で彩ちゃんの絵を展示しながら骨髄バンクの理解と支援を呼びかけています。長岡では四月十一日から十六日まで「大きくなったら画家になりたい」という彩ちゃんの気持ちを尊重し、広く照明のよい市の美術センターで開催しました。テープカットから始まり大盛況のうちに幕を閉じました。近くの小中学校ではクラス単位で見に来てくれました。絵を見た後、感想を書いて頂きましたが、その中に「今迄ためらっていたドナー登録も彩ちゃんの絵を見て決心がついた」「二十歳になったら登録します」「残りの絵も見た」「これからわがまま言わず良い子になります」等々。六日間、毎日来場された方もいました。



三月十九日は、秋田市のデパートの一階をお借りして、「骨髄バンク・チャリティーバザー」を開催しました。

若い世代に骨髄バンクの事を正しく知ってもらうため、県内の小・中・高校に骨髄バンクの関連図書をお贈りしようと、バザーの収益金を図書の購入資金に充てることにしました。

年明け早々から準備に取り掛



う社会科の授業のしめくりとして、卒業していく子供たちに良い心の贈り物になったと思う」と話しています。

生徒からの「お礼のカード」には、「白血病の大変さがよくわかりました。一日、一日の命を大切にしようと思いました」「白血病と苦しい生死をかけたたかたときの様子をお話して下さり、ありがとうございます。命があるという喜びがわかり、人の気持ちを考えないといけないということを知りました」等の言葉がよせられました。

埼玉 小学校の授業に白血病を

埼玉連絡会の副会長であり、小学六年生を担任する小川先生は、社会科の授業に骨髄移植で元気になられた元白血病患者の木村千加子さんを招き、生徒に話を聞いてもらいました。

小川先生は、「平和を願うとい



健康

その大切さを私たちが知っています。

東京法規出版は、みなさまの健康づくりにお役に立つためのパンフレット、書籍、パネル、ビデオの企画・制作やグッズの販売、セミナーの企画運営を行っています。

21世紀の健康づくりを考える
東京法規出版

画集「いっしょうけんめい ぼくがんばる」
5,000枚の絵を描き、5歳9ヶ月でその命を閉じた、沖縄のきせひろゆきちゃんの画集が発行されました。憧れ、夢、切実な思いのあふれた感動画集です。
定価 2,500円(15%が還元されます)
発行所 那覇出版社
〒901-11 沖縄県南風原町字兼城515-5
TEL098(888)2151
FAX098(889)4133
直接発行所へ申し込んで下さい。(送料は出版社負担)

連合通信社

白血病治療

きょうから明日へ
秒進分歩する白血病治療
第一線の医師が選択する治療法は...
日本の白血病治療の全体像を紹介する最新情報
二、七〇〇円(送料三二〇円)
日本つばさ協会編
〒105 東京都港区芝1-4-9
Tel 03-3454-1105
Fax 03-3454-6559
直接、連合通信社に

心からのご寄付を ありがとうございました



東京マリンロータリークラブの2周年例会で、チャリティーゴルフコンペの収益から海部会長に寄附されました。

3月21日～4月20日まで

峰山中学校福祉委員会	現金	4,451
陶クラレ資産一課	切手	1,170
大谷るみ	切手	1,148
喜瀬哲・輝代	絵本	15冊
舞鶴ライオンズクラブ	現金	415,637
加藤卓	切手	180
中野義樹	切手	939
大谷貴子	現金	2,000,000
東京マリンロータリークラブ	現金	100,000
伊東伸孝	現金	30,000
阿原一良	現金	10,000
河田恭子	現金	50,000
住友銀行広報部社会文化事業室	切手	83,233

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

頭痛のタネ、肩の重荷、首がまわらない、不景気な顔、足の引っぱりあい、勇み足、骨肉の争い、明日胃カメラ、プレッシャー、取り越し苦労、空まわり、板バサミ、ムカムカ、イライラ、モヤモヤ、ムシャクシャ、ギクシャク、セクハラ、未練タラタラ、内気、エッチ、良心の呵責、永すぎた春、単身赴任、親子の断絶、理由なき反抗、五里霧中、四面楚歌、諸行無常、煩惱、出来心、退屈、理想と現実のギャップ、失意のどん底、お先まつ暗、不吉な予感、気のせい、ツキがない、楽しくないでお悩みの方に、フジテレビ。

